

需要低迷と人手不足が続く中、 トランプ新政権の動向を不安視

1月の業界WEATHER

全業種平均



前年同月比

概況

業種を問わず需要が低迷する中、一部では人手不足による操業度低下や人件費上昇等が見られ、依然厳しい経営環境が続いている。また、米国のトランプ大統領誕生で、今後の輸出動向や燃料価格等に対する懸念が広がっている。

| | | | |
|------|---------|--|---|
| 製造業 | 食料品 | | パンは学校給食用が米飯給食の推進や少子化等により苦戦している。製麺は年始において好調となるも、中旬以降は急激に荷動きが鈍化している。食肉は売上が前年並みに推移するも、人件費の負担増により利益が悪化している。 |
| | 繊維・同製品 | | 桐生織物は婦人服地では、小ロット生産の傾向が強まる中、端境期が間近に迫る。伊勢崎織物は和装織物の需要低迷が続くも、広幅織物は売上が順調に推移している。繊維製品は関連業者の廃業が続き、作業の滞りが発生している。 |
| | 窯業・土石製品 | | 生コンは前橋や高崎で出荷量の増加が見られるも、回復感は依然乏しい。コンクリートブロックは工事量が増加する反面、現場の人手不足が課題である。砕石は全体として悪化傾向が続く中、西毛地域の落ち込みが大きい。 |
| | 機械・金属 | | 円安基調に伴う原材料等の値上げが不安視される中、人手不足や国内需要の弱まり等が課題である。また、米国のトランプ大統領誕生により、自動車関連企業を中心に今後の動向を注視している。鍍金は半導体関連が好調である。 |
| | その他の製造業 | | 木材は販売価格に上昇の兆しが見られるも、人手不足による操業度低下で生産量が落ち込んでいる。紙加工品は好調が続く観光地関連の需要に陰りが見られる。印刷は受注低迷の中、今後、小ロット・価格据え置き傾向が窺える。 |
| 非製造業 | 卸売業 | | 前橋卸は広域幹線道路の開通に伴う企業の事務所移転が一段落している。太田の食品卸は輸出好調の反面、国内需要は落ち込みが見られる。農産物卸は昨年秋の台風の影響が未だにあり、全般的に高値相場で推移している。 |
| | 小売業 | | 燃料小売は元売の経営統合の進展による、小売店への影響を懸念している。生花小売は新年会用の装花等の年始需要が低迷している。商店街は各地で初売りを開催するも、降雪や大型店舗の早期初売り開催等の影響で客足が伸び悩む。 |
| | サービス業 | | 温泉旅館は降雪によるキャンセル等で入込数が減少している。一方、インバウンド集客を成功させる旅館も散見される。不動産取引は渋川市域において、国道延伸に伴うアクセス向上や、駅前開発の進展による今後の需要増加に期待している。 |
| | 建設業 | | 解体工事は人手不足の中、業界のイメージアップや労働環境の改善が課題である。電気工事はガスの小売自由化を控え、セット販売等で顧客獲得を目指す。塗装工事は仕事量の伸び悩み等による収益・資金繰りの悪化が散見される。 |
| | 運輸業 | | 稼働日数が少ない中で荷動きは伸び悩み、降雪による軽微な物損事故も発生している。米国の経済政策等による今後の燃料価格動向に一層不安が高まる。小型運送は売上・件数が前年並みも、仕事の回転については良好となる。 |

※本調査は、情報連絡員56人が所属する組合の全体的な景況（前年同月比）です。

県内の主な経済指標

- 鉱工業生産指数(季節調整値) 115.9(前月比+1.7%)「県統計課・12月」
- 住宅着工戸数 1,129戸(前年同月比+2.7%)「県建築住宅課・12月」

- 求人倍率(季節調整値) 新規1.95倍・有効1.44倍「群馬労働局・12月」
- 大型小売店販売額 251億円(前年同月比+2.4%)「経済産業省・12月」
- 消費者物価指数(全国) 100.1(前年同月比+0.3%)「総務省統計局・12月」
(鉱工業生産指数は22年=100とした指数・消費者物価指数は27年=100とした指数)